

第6節 高校3年生

生き方を探るⅡ

佐藤俊樹・寺井一
近藤和雅・鈴木克彦
鶴田治之・長瀬加代子

【抄録】「生き方を探る」という大テーマのもと、本校での学習の集大成として高校3年生が取り組んだ総合人間科。自ら学び考えるトレーニングを積んだ生徒を、大学での学びの場に送り出すことへの原動力となっていることがあらためて明らかになった。

【キーワード】 進路 生き方 キャリア形成 総合的な学習の時間

1. はじめに

高校3年生では、6か年（または3か年）にわたる附属学校での総合人間科の締めくくりとして、卒業後の進路を主体的に探るという位置づけから、「生き方を探る」という大テーマが設定されている。この大テーマどおり、今年度の高校3年生も総合人間科を通して自分の進路を真剣に探ることで充実した学習態度をとることができた。

2. 学年の目標

自らの自己形成の過程を知り、主体的に生き方を選択することができる力を育てる。進路問題を個人の問題とはせず、系統別グループ内で検討し、実りある進路選択を行うことができようにする。具体的には、学外でのフィールドワークによって自分の進路決定に関わる人から直接学んだり、スピーチや研究集録の形式で自らの意識を発表する。こうすることで、自分の将来に対する認識を深め、総合人間科の目標である「自分の人生を自覚的に選択する力を育てる」ことの達成をはかる。

3. 学習方法

前期は学外でのフィールドワークによって自分の進路決定に関わる人から直接学ぶことを中心とした。これをもとに後期にはスピーチや研究集録の形式で自らの意識を発表した。こうすることで自分の将来に対する認識を深め、総合人間科の目標である「自分の人生を自覚的に選択する力を育てる」ことの達成をはかった。

4. 1年間の活動実績

- 4 / 9 概要説明・アンケート
- 4 / 16 進路希望系統別グループ発足
- 4 / 23 フィールドワーク先検討①
- 5 / 7 フィールドワーク先検討②

- 5 / 21 フィールドワーク先発表会
- 5 / 28 フィールドワーク
- 6 / 4 フィールドワーク先へのお礼状発送
フィールドワーク報告会準備
- 6 / 25 フィールドワーク報告会：グループ内
- 7 / 9 卒業論文ガイダンス
- 10 / 1 スピーチ原稿・集録原稿執筆①
- 10 / 15 スピーチ原稿・集録原稿執筆②
- 10 / 29 スピーチ原稿・集録原稿執筆③
- 11 / 5 生き方に関するスピーチ（グループ内）
- 11 / 19 学年全体でのスピーチ
（各グループからの選抜者による）
- 12 / 10 研究集録（卒業論文）原稿完成
- 1 / 14 まとめとアンケート
- (3 / 4) 中1への講話

5. 系統別グループ

進路希望の系統別にほぼ均等な人数になるように生徒を割り振り、18～21名のグループを6つ作り、学年団の6名の教諭がそれぞれを担当し、グループ内での取り組みを援助した。どのグループもリーダーとサブリーダーを決め、発表会などの運営は生徒が担った。

班	系 統	人数	担当教員
1	人文科学	20	鈴木
2	社会科学	21	佐藤
3	理学・工学	19	近藤
4	医学・歯学・薬学	18	鶴田
5	農学・教育・家政	20	寺井
6	芸術・体育・技能	18	長瀬

6. 生徒の取り組み

(1) フィールドワーク（5月28日）

検討開始から本番まで1か月しかなかったが、生徒た

ちはグループ内でよく検討し、自分の進路希望に見合ったフィールドワークを行うことができた。木曜日の第5、6限を訪問時間として設定したが、相手側の都合などにより別日に行った者が43名いた。訪問先の一例を以下に示す。

1班 人文科学系統

名古屋大学 教育学部
 名古屋市立大学 人文社会学部
 南山大学 人文学部
 愛知県教育委員会
 JICA中部
 名古屋テレビ

2班 社会科学系統

名古屋大学 法学部、経済学部、環境学研究科
 名古屋市立大学 経済学部
 南山大学 外国語学部、経済学部、総合政策学部
 中京大学 法科大学院
 名古屋地方検察庁
 NHK名古屋
 中日新聞社
 長久手町役場

3班 理学・工学系統

名古屋大学 理学部、工学部
 名古屋工業大学 工学部
 岐阜大学 工学部
 名古屋市立大学 薬学部
 核融合科学研究所
 国立科学博物館

4班 医学・歯学・薬学系統

名古屋大学 医学部
 名古屋市立大学 医学部
 岐阜薬科大学
 愛知学院大学 歯学部
 大府養護学校
 動物病院

5班 農学・教育・家政系統

名古屋大学 理学部、農学部
 椋山女学園大学 生活科学部
 中京大学 体育学部
 中部大学 応用生物学部
 県立春日台養護学校
 名古屋市立吹上小学校
 名古屋短期大学附属幼稚園
 名古屋市児童福祉センター
 名古屋港水族館

6班 芸術・技能・就職

愛知県立芸術大学 美術学部
 名古屋医療秘書福祉専門学校
 名古屋モード学園
 財団法人愛知県国際交流協会
 デザイン事務所
 スタイリスト
 ラーメン店

フィールドワーク実施の約1か月後の6月25日には、各グループ内でフィールドワークの報告会を行った。生徒は質疑も含めて各人4分の持ち時間で、フィールドワークの動機、聴いてきた話の内容、得られた成果、現在の進路意識などについてスピーチした。また、評価用紙を配布し、自分以外のスピーチについてももしっかり耳を傾けたあと評価できるよう配慮した。

(2)生き方に関するスピーチ

夏休みを前にした7月9日、次なる取り組みである生き方に関するスピーチと卒業論文執筆の説明を行った。時間のたくさんある夏休み中に原稿執筆を行ってしまう者が数名いたが、ほとんどの生徒は学校祭や前期末考査が終わった10月中旬になってスピーチ原稿を書き始めた。受験に向けて家庭学習が大切であることはよく認識しており、家庭に持ち帰ることで自分の負担にならないように、限られた総合人間科の時間に強い集中力を発揮して執筆を進める姿が印象的であった。

スピーチの原稿はそのまま卒業論文に発展させることが可能であり、どの生徒も12月に締め切りを迎える卒業論文を視野に入れて書き進めた。また、AO入試や推薦入試を受験する生徒にとっては、原稿の執筆が入試における小論文や面接対策にもなり、実際、高い合格率となってその効果を示してくれた。

11月5日にまず各グループ内で全員が約3分の持ち時間でスピーチを行い、その中から3名を投票によって選抜し、2週間後には各グループからの選抜者により高校3年生全員の前でもう一度スピーチさせた。以下に選抜者によるスピーチのタイトルを示す。

教師！！
 何が必要なのか。
 貧困をなくすために
 日本における国際化
 優柔不断
 Back to the ORIGIN
 ONE PIECE を極めてみると
 総人を通して
 いつか自分のやりたいこと
 猫を飼い始めて8か月がたちました。
 将来になりたい職業
 自分にとって水泳って何だろうか。
 日本の英語教育について
 姉と共に成長した17年
 音大生になるにあたっての傾向と対策

注) 個人名が入るものは省略した



代表者のスピーチでは、生徒全員が書いた感想をスピーチ者に渡して、他者の視点から自分を見つめ直すことができるよう配慮した。以下にその一例を示す。

名大附での総合人間科を通して自分の将来のことを深めていって良いと思う。明確な夢もあってすごい。頑張ってください。

6年間の総合人間科のことがまとめられていてよかった。進路、悩むのは共感できる。決めてはみても、悩んでばかりなので。納得できるまで、悩むのがいいよね。

総合人間科は色々なものを考えさせてくれます。特に今年の総合人間科は幅広く自分を追究できますよね。僕は具体的な夢を持っていませんが、発表を聴いてこれから模索するのもアリかなあと思いました。

遊園地のような科学……。とてもすてきな考え方だと思います。すごく知識も豊富ですごいと思った。私も変人になれるくらい、好きなことをやれるようになりたいな。科学者への道、これからも頑張るね。

話すの大変なこと。一生懸命話してくれてありがとう。どんな形であれ、一つのことに打ちこんだという経験はすばらしいものだと僕も思います。必ず役立つものだと思います。そもそもそういう経験をして、色々考えて、後悔もして、そのことで成長して人間的に深みが増したものもあると思います。がんばってください。

私もキャプテンやって、神経性の胃炎になりました。キャプテンはつらいよね。言葉にならないことがいっぱいあるのも、よく分かる。キャプテンやった人だけに成長できることもあって、それは一生モノです。あの時はつらいだけだったけど、今思えば、よい経験だよ。すごく同感しました。

テーマが壮大だと思いました。私は自分のことで手一杯なので、世界や外国のことなど考える余裕がありません。それに対して、自分の意見をしっかり持ち、他人のために役立つとするあなたは本当にすごいと思いました。私ももうちょっと周りを見わたそうと思います。がんばってください。

感想用紙は温かい励ましの言葉で溢れ、また感想を書くことでスピーチ者から示唆を与えられるという双方向の学び合いが達成されていた。また、このような関係が構築されることで、受験本番に向かって生徒が一体となって立ち向かおうとする団結心が引き起こされることになった。

(3)卒業論文

代表スピーチのあと3週間、後期中間考査をはさんで12月10日が卒業論文の締め切りという過密スケジュールの中、約2000～3000文字という卒業論文を全員が完成させた。学年大テーマ「生き方を探る」に基づき、これまでの人生をじっくり振り返る者、これからの長い人生に思いを馳せる者、さらには過去の総合人間科での研究成果にさらに踏み込んだ者など、さすが最終学年と思わせる充実した内容に仕上がった。卒業論文のおもなタイトルを以下に示す。

1班 人文科学系統

Elements 私の構成要素。
 教師 ～人間関係の大切さ～
 総合的な学習について
 一歩前に進むために
 いかにして食うべきか
 自分の好きなモノ

2班 社会科学系統

貧困をなくすために
THINKING BASEBALL
墨西哥探検記
NPOという選択
社会に合った+1の提案
HEROへの道

3班 理学・工学系統

ヒコーキ
STRONG WORLD
Architecture
思考と感覚
未来の自分へ
3分でわかる「でつの法則」

4班 医学・歯学・薬学系統

名大附での6年間
運命的な出会い
器械体操を通じて
宗教について考えてみる
将来の夢と過去
世界の夢を叶えよう

5班 農学・教育・家政系統

泳ぐ人
芸術からめて
僕の生きる道
青春18切符 ～心の旅～
6576日 18年間を振り返って
立派な不良になること

6班 芸術・体育・技能系統

我がマンガ道
私たちの使命
私とBallet
わたしのまど
志の下で
Twinkle dream BRIDAL STYLIST

(4)中1への講話

卒業式の3日後の3月4日の総合人間科の時間、既に推薦入試等で進学を決定している生徒に、同じく「生き方を探る」を大テーマとする中学1年生に向けて、話をしてもらった。内容は自分の6年間を振り返ったり、これから進む大学で学びたいことであったりと様々であった。代表生徒8名の進路は以下のとおりである。

- (1)文学部
- (2)工学部建築学科

- (3)経済学部
- (4)映像メディア学部
- (5)音楽学部
- (6)総合政策学部
- (7)応用生物科学部獣医学科
- (8)海外留学

7. 成果と課題：アンケート調査より

最終回あたる1月14日に、総合人間科に関するアンケートを行った。アンケート項目は以下のとおりである。

1. 今年度のフィールドワークは自分の進路を考える上で役に立った？
2. 自分の3分間スピーチは自分の進路を考える上で役に立った？
3. 自分の3分間スピーチによって受験への意欲がより強くなった？
4. 他人のスピーチを聴くことは自分の進路を考える上で役に立った？
5. 他人のスピーチを聴くことで受験への意欲がより強くなった？
6. 卒業論文の執筆は自分の進路を考える上で役に立った？
7. 今年度(高3)の総合人間科は、自分の進路を考える上で役に立った？
8. 中1あるいは高1からの総合人間科は、自分の進路を考える上で役に立った？
9. 今年度(高3)の総合人間科は、科学への知的好奇心を育てる上で役に立った？
10. 今年度(高3)の総合人間科は、深く理解し、考え、発表する力を育てる上で役に立った？
11. 今年度(高3)の総合人間科は、人や社会のために学習内容を活用する力を育てる上で役に立った？
12. 今年度(高3)の総合人間科は、大学での専門的な研究につながる学びの力を育てる上で役に立った？
13. 今年度(高3)の総合人間科は、自分の生き方について考える力を育てる上で役に立った？

これらを、とても強くそう思う、まあまあそう思う、どちらでもない、あまりそうは思わない、全然そうは思わない、の5段階で回答させた。その結果、とても強くそう思う、まあまあそう思うを合わせた割合が80%を超えたのが1.7.13.の3項目であった。8.と10.も75%を超えた。反対に、50%に満たなかったのが3.5.9.であった。

附属学校の出口にあたる高校3年生の総合人間科では、自分の人生を真剣に考え、間違いのない進路選択をさせることを主眼として活動してきたが、1.7.10.13.が高い支持を得たことは生徒にそのねらいが浸透してい

ることをうかがわせてくれる。また、8.の支持率の高さも、6年あるいは3年にわたる総合人間科の取り組みが、生徒に高い意識を持って進路選びをさせる大きな力になっていることを物語っている。

一方、高3の総合人間科はSSHを意識したものになっていないため、9.では約28%の生徒しか肯定的にとらえていないが、12.では約62%が大学での研究につながると考えていることが示された。このことは本校のSSH研究開発において高大の連携を意識していることが関わっているように感じられる。総合人間科は、自ら学び考えるトレーニングを積んだ生徒を大学の学びの場に送り出すことの原因力となっていることは生徒の意識からも確かなことのようにである。

(文責：佐藤俊樹)